

第5回 ファイルアップロード

課題 5－1

★第1段階（ファイル名：kadai05_1.php）

配布した kadai05_1.php において、

- ① ファイルをアップロードできるように設定してください。

※<input>タグの type プロパティが「file」となっていることも確認してください。

- ② 「アップロード」ボタン押下時、kadai05_2.php に POST 形式でデータを送信するようにしてください。

■入力画面

サーバーサイドスクリプト演習 1

画像のアップロード

画像のアップロード

ファイルを選択

選択されていません

PNG,JPG,GIF 2MB以内

アップロード

■ファイル選択後（画像ファイルの場合）

サーバーサイドスクリプト演習 1


画像のアップロード

画像のアップロード

ファイルを選択

roku02.jpeg

PNG,JPG,GIF 2MB以内



アップロード


■ ファイル選択後（画像以外のファイルの場合）

画像ではないので、ファイル名のみ表示される。

サーバーサイドスクリプト演習 1

画像のアップロード

画像のアップロード



ファイルを選択 kadai06.js

PNG,JPG,GIF 2MB以内

アップロード

課題 5 － 2

★第 1 段階（ファイル名：kadai05_2.php）


課題 5 － 1 で送信されたファイル情報を受け取り、下記の処理を行ってください。

先に結果だけ表示します。処理の順番は結果画像のあとに記載しています。

■画像アップロードに成功した時

サーバーサイドスクリプト演習 1
画像のアップロード結果

アップロード結果



戻る

■画像アップロードに失敗したとき（エラーに応じたメッセージが表示される）

下記の例では、画像以外のファイルをアップロードした場合

サーバーサイドスクリプト演習 1
画像のアップロード結果

アップロード結果

画像ファイル以外はアップロードできません

戻る

以下に処理手順を記載します。

① POST でデータが送信されていなかったら、kadai05_1.php へ戻り、処理終了

② 結果格納用の連想配列を宣言

//結果格納用の連想配列(初期値はエラーなし状態)

```
$result = [  
    "status" => true, //状態を表す  
    "message" => null, //エラーメッセージ格納用  
    "result" => null, //結果格納用  
];
```

③ ファイル変数が定義されていないか、null のとき、\$result にエラー用の値を格納する

■ ファイル変数のチェック

■ \$result 設定

status	false
message	ファイルのアップロードに失敗しました

④ 送信されたファイルデータを変数に格納

⑤ ファイルのエラーがあったとき、\$result にエラー用の値を格納する

■ ファイルエラーのチェック

■ \$result 設定 ※仕様は次のページへ続く

status	false
--------	-------

message

\$④で作成した変数名["error"]で返ってくる値に応じて、message をセットする。

※返ってくる値は定数で条件分岐可能。（詳しくは講義資料にも記載あり）

定数	message にセットする値
UPLOAD_ERR_INI_SIZE または UPLOAD_ERR_FORM_SIZE	ファイルのサイズが大きすぎます
UPLOAD_ERR_PARTIAL	通信環境が良くなってからもう一度 お試しください
UPLOAD_ERR_NO_FILE	ファイルがありません
その他	システムの復旧後に再度アップロードしてください

⑥ ⑤には該当せず、ファイルが画像形式でなかったとき、\$result にエラー用の値を格納する

■ファイルタイプが image に合致するかチェック

■\$result 設定

status	false
message	画像ファイル以外はアップロードできません

⑦ ファイルにエラーがなかった（\$result["status"]の）とき、

1. ファイル名を日時に変換して、ファイルパスを作成する

下記の例は④で作成した変数名が\$upfile だった場合

※連想配列を使用。

```
$reFileName = date( "YmdHis" );
$ext = explode( ".", $upFile[ "name" ] );
$ext = $ext[ count( $ext ) - 1 ];
$moveFilePath = __DIR__ . "/asset/storage/{$reFileName}.{$ext}";
```

2. ファイルをアップロードの成功か否かによって、\$result に値を設定する

■ ファイルアップロード成功かチェック

■ アップロード成功の場合 \$result 設定

message	ファイルのアップロードに成功しました
result	※※アップロードしたファイルのフルパス※※ ※utils.php にあるメソッドも使用可能。

■ アップロード失敗の場合 \$result 設定

status	false
message	ファイルのアップロードに失敗しました

★ここから HTML の処理

⑧ \$result の結果が成功している場合、タグに画像を設定して表示する

⑨ \$result の結果が成功でない場合、<p>タグにエラーメッセージを表示する

⑩ 「戻る」ボタンが押されたとき、kadai06_1.php に遷移する